JR気仙沼線(休止区間)の運搬路使用による一般道の安全性向上及び土砂運搬の効率化

➢ 市街地の走行の回避による一般道の安全性向上及び運搬時間の定時性を確保

気づき

・JR線休止区間の軌道敷を土砂運搬路として使用することにより、一般道の安全性向上及び効率的な土砂運搬が可能

≪実現のための課題≫

・前例の無い事例に対する鉄道管理者との協議

・軌道敷の土砂運搬車両の走行可否

気づきを踏まえた取り組み

・当該軌道敷等の現地調査を実施し、工事用道路の検討及びを設計を実施

（現道利用2．9km → 軌道敷利用1．2km）

・H26年8月協議締結（H26年度から使用）

効果

◆ 約300台/日の工事車両が気仙沼市街地の走行を回避でき、一般道の安全性が向上

◆ 渋滞箇所回避による運搬時間の短縮及び定時性確保（15分+α⇒5分）

当初計画

▼渋滞している（主）気仙沼唐桑線



≪当初運搬ルートの問題≫

・市街地での工事車両往来の増加による安全性低下

・混雑区間走行による土運搬サイクルの非効率化

気づきを踏まえた検討結果

軌道を活用した工事専用道路を設置



